

簡易BCP いざというときに備える確認シート [組合事務局用]

事業所名

常勤人数

記入日

所在地

記入者

ステップ1

危険箇所の確認 自治体が発行するハザードマップを確認してみましょう

国土交通省ハザードマップポータルサイトから各自治体のハザードマップを確認できます <https://disaportal.gsi.go.jp/>



防災科学技術研究所
地震ハザードカルテ
<https://www.j-shis.bosai.go.jp/>



ステップ2

危険の種類 事業所の所在地でハザードマップ上どんな災害が想定されていますか？発生可能性とその影響が大きいものを選んでみましょう

地震 津波 高潮・洪水 浸水 土砂災害 液状化

ステップ3

対応すべき災害レベルの設定をしましょう 人命の安全確保が最優先です

地震 震度4 以上 震度5弱 以上 震度5強 以上 震度6弱 以上 のとき

対応 自宅待機または自宅に戻る 事務所待機または事務所に戻る
 避難所へ避難



水害 土砂災害 警戒レベル3 高齢者等避難 警戒レベル4 避難指示 警戒レベル5 緊急安全確保 のとき

対応 自宅待機または自宅に戻る 事務所待機または事務所に戻る
 避難所へ避難



ステップ4

緊急連絡先を確認しましょう 電話以外の方法も考えましょう

氏名	よみ	役職	電話	その他連絡方法(メール SMS 伝言ダイヤルほか)

ステップ5

減災の事前対策を確認しましょう

避難場所

備蓄物資 飲料水 食料 簡易トイレ

加入保険 火災保険 地震特約 水害補償 業務災害 生命保険



ステップ6

災害が発生したとき、自身の安全確保ができた後の行動

行動 役職員・来訪者の安全確認 事務所被害状況の把握 組合員の状況把握 組合役員と早期復旧に向けての取組

ステップ7

この確認ができたなら国の事業継続力強化計画策定に取り組んでみましょう
中小企業強靱化支援ポータルサイト <https://kyoujinnka.smrj.go.jp/>



ステップ8

このシートは1年に1回見直してみましょう

再確認・見直した